

繊維製品の摩擦試験

摩擦刺激の比較に！

特徴

繊維製品等とヒト皮膚の間に生じる摩擦力を測定します。実際の製品をヒトの皮膚に対して擦って摩擦力を測定しますので、糸の物性としての摩擦係数の影響だけではなく、編み物と織物の構造の違いなどの影響も含めて評価することができます。

試験内容

被験者：健常人5名～

試験部位：前腕内側部

サンプル：2点で一対比較

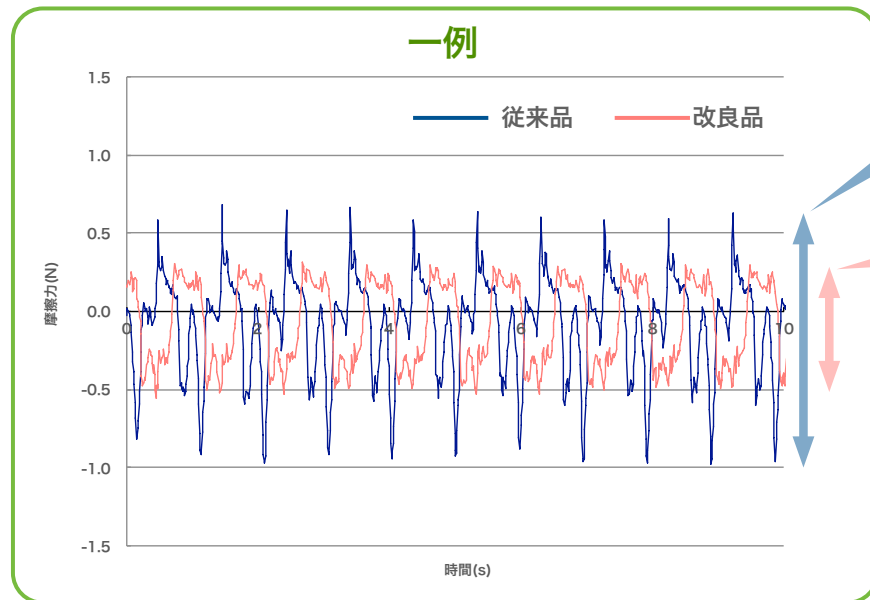
測定時間：1分程度～

- ・サンプルと皮膚の接触圧、
- ・サンプルの状態（dry or wet）、
- ・サンプルを擦る速度、など
ご希望の条件で測定いたします。
ご相談ください。

☆詳細な試験方法はご要望に合わせて決定いたしますので、被験者の人数や被験者の負担等によって費用が変わってきます。ご検討される場合は、一度ご相談ください。適切なプランを提案させていただきます。

☆繊維製品以外でも対応可能です。ご相談ください。

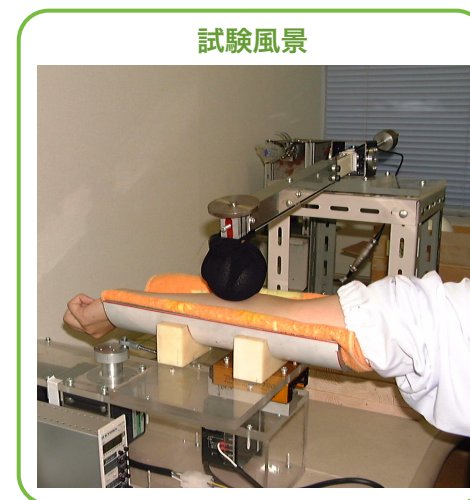
摩擦力の経時変化を測定して評価します！



摩擦力が
大きい

摩擦力が
小さい

従来品よりも改良品の方が
摩擦刺激が小さい
と考えられます。



実施にあたっては安全性を担保できる資料が必要となる場合があります。
河合法・閉塞法などの安全性試験についても併せてご相談下さい。

日本産業皮膚衛生協会（日皮協）は
生産者および消費者の皮膚衛生に
貢献することを目的としています。

日本産業皮膚衛生協会 TEL 075-312-5575 FAX 075-314-7735 〒600-8877 京都市下京区西七条南西野町60
JAPANESE SOCIETY FOR CUTANEOUS HEALTH URL <http://www.jsch.or.jp/>